

横浜市新型コロナウイルス対策本部会議 議事要旨	
日 時	令和2年8月24日(月) 15時00分～15時50分
開催場所	市庁舎10階 危機管理センター本部会議室
出席者	<p>【正副本部長】 市長、平原副市長、小林副市長、城副市長、林副市長、高坂危機管理監</p> <p>【局・統括本部】 温暖化対策統括本部長、政策局長、総務局長、財政局長、国際局副局長、市民局長、文化観光局長、経済局長、こども青少年局長、健康福祉局長、医療局長、医療局病院経営本部長、環境創造局長、資源循環局副局長、建築局長、都市整備局長、道路局長、港湾局長、消防局副局長、会計室会計業務改善担当部長、水道局長、交通局長、教育長、選挙管理委員会事務局長、人事委員会事務局長、監査事務局長、議会局副局長</p> <p>【区】鶴見区長、南区長、瀬谷区長</p> <p>【その他】危機管理室長、政策局政策調整担当理事、保健所長</p>
開催形態	マスコミ公開
議 事	<p>開 会</p> <p>1 市内の状況について（報告）</p> <p>(1) 感染発生の状況 資料1に沿って説明【健康福祉局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Y-A-E-I-T（ワイエイト）の活動は、大変有効である。8月の暑い時期ではあるが宜しくお願いします。【林本部長】 ・ 院内感染対策情報共有会は、今後も継続すること。【林本部長】 <p>(2) 医療提供体制の状況 資料2に沿って説明【医療局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8月に入って、熱中症の患者が増加しており、医療機関は熱中症とコロナ対応が重なり多忙となっている。【医療局長】 ・ 第一波の時と比べると、現時点の方が感染者数は増えているが、9割の方が軽症、無症状である。ただ、高齢者が感染すると重症化するので、油断できない状況である。【医療局長】 ・ 今後も、クラスターが発生した場合には、Y-A-E-I-Tにより徹底的に調査していくこと。【林本部長】 <p>(3) 国の新たな指標に照らした本市の状況 資料3に沿って説明【本部運営調整チーム（危機管理部長）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市では、現在の状況を総合的に判断し、現時点においては、「レベル2」であると捉えている。【危機管理部長】 <p>(4) 経済の状況 資料4に沿って説明【経済局】</p> <p>(5) 観光 MICE の状況 資料5に沿って説明【文化観光局】</p>

	<p>2 暮らし・経済対策について 資料6（これまでの経過、9月補正の3つの柱）に沿って説明【林本部長】 資料6（上記以外）に沿って説明【暮らし・経済対策チーム長(政策局長)】</p> <p>3 その他 《林本部長確認事項》</p> <p>①「保健所の人員体制」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師を中心に活動しているが、東京都内の患者が増加すると、本市の濃厚接触者が多くなる傾向にある。このような状態が続いているため、各区の保健所に負荷がかかっており、局を上げて応援体制を確立しているところである。【健康福祉局長】 ・保健師の負担を軽減したいが、すぐに保健師を増員できないため、保健師の業務を減らすしかなく、現在、業務削減について調整しているところである。【市民局長】 ・保健師の業務分担や効率化などを検討している。また、現時点で、既に15名ほど健康福祉局健康安全課へ応援派遣しているが、更に強化していくことを検討している。 【総務局長】 <p>②「市内企業の倒産状況」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倒産件数は、昨年度と比べて大差はない。これは、本市の資金繰り支援もあり、現在は企業の資金繰りが何とか安定しているためであると思う。コロナ禍が長期化するようであれば、倒産件数が今後増えることも予想される。今後は、新しい生活様式に対応しながら、本業で利益を上げていただけるように応援していく必要がある。そのためには、コロナ禍であっても事業を継続している事業者の好事例を収集し同業者に周知し、好循環を作っていく必要があると考えている。【経済局長】 ・「中小企業の『新しい生活様式』対応支援事業補助金」については、多くのエントリーがあったと聞いている。なるべく早く事業者の手元に補助金が届くようにすること。【林本部長】 <p>3 本部長指示 別紙のとおり</p> <p>閉 会</p>
<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<p>1 資 料</p> <p>資料1 感染発生の状況【健康福祉局】 資料2 医療提供体制の状況【医療局】 資料3 国の指標に照らした本市の状況【本部運営調整チーム】 資料4 経済の状況【経済局】 資料5 観光 MICE の状況【文化観光局】 資料6 暮らし・経済対策について【暮らし・経済対策チーム】</p> <p>2 特記事項 なし</p>

新型コロナウイルスは、現在も世界的なまん延が続いており、終息の兆しはまだ見られません。日本においても、全国的に感染者数が増加したことで、地域によっては、医療提供体制がひっ迫したところもあります。東京や大阪などでは重症者が急増し、沖縄や愛知などでは、独自の緊急事態宣言が発出されました。

横浜市内でも、新規感染者数が最多を更新するなど、感染者数が多い日が続いてきましたが、大きく増えることなく抑えられています。軽症・無症状の方が全体の93%と多くを占めているのに対して、重症の方は4人、中等症の方は26人と少ない状況です。改めて、医療機関、医療従事者の皆様のご尽力に、心より感謝申し上げます。

重症・中等症用の病床は、確保している500床のうち67床分の利用にとどまっています。軽症・無症状者用の宿泊療養施設である旧市民病院の200床のうち、現在利用されているのは25床と、まだ十分な余裕があります。

一方で、感染拡大の中で、相談や追跡調査、PCR検査の実施調整などの業務にあたる保健所、区福祉保健センターの職員の負担も増大しています。また、検査・相談や患者受入れ、病床の確保等にご協力いただいている医療機関、最前線で対応されている医療従事者の方々のご負担は、非常に大きくなっています。

横浜市の総力を挙げて、医療機関や医療従事者の方々をしっかりとお支えしていきます。

経済の面では、内閣府の発表では、4月から6月までのGDPの実質伸び率は年率マイナス27.8%と、リーマンショックを超える、大変危機的な状況です。

横浜市内の経済も、依然として厳しい状況です。有効求人倍率は5年ぶりに1倍を下回りました。6か月連続の低下です。主要ホテルの平均稼働率も、6月期は36.9%と、緊急事態宣言下であった5月の20.9%から16ポイント回復しているものの、非常に厳しい経営状況が続いています。

困難な状況にいらっしゃる市内事業者の皆様をお支えし、一日でも早い経済活動の再生に力を尽くしてまいります。

このたび、5月、6月の補正予算に続き、暮らし・経済対策として、総額169億円となる補正予算案を編成しました。

「市民と医療を守る」、「横浜経済と市民生活を守る」、「新たな日常に取り組む」を柱に、「感染症対策の強化」と「経済再生の実現」の両輪を回して、新しい生活様式に対応した社会づくりを、さらに加速させていく決意です。

各本部員は、事業が迅速に進むようリーダーシップを発揮し、職員を積極的にフォローしてください。決して組織間で縦割りになることなく、柔軟に、区局一丸となって力を尽くしていきましょう。

これからの季節は、台風など風水害に対する備えも重要です。コロナ禍における災害対応について、今一度、十分な備えをお願いします。

まもなく9月を迎えますが、厳しい暑さはまだ続きます。市民・事業者の皆様におかれましては、こまめに水分補給を行い、十分な距離が取れる屋外ではマスクを外していただくなど、感染症対策と熱中症予防のバランスを取ってください。

特に、ご高齢の方は、重症化しやすく、熱中症のリスクも高くなります。ご自身で十分にご注意ください。そして、周囲の皆様は、ご高齢の方に感染が拡大しないよう、ご理解、ご協力をお願いいたします。

感染の発生は、以前は、若年層が中心となっていましたが、現在では、あらゆる世代に広がっています。どの世代の方も気を緩めることなく、「手洗いやマスクの着用」、「3密を避ける」、「換気の徹底」など、引き続き、感染予防、防止に向けた対策をお願いいたします。